

まなぶくんだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



和歌山の教育を担う中核教員の育成をめざした 「平成 29 年度学力向上コアティーチャー養成・活用事業」

学力向上コアティーチャー養成・活用事業とは、学力向上に成果を上げている県外の学校での研修や、所属校での授業実践等を行うことにより、学力向上に向けた専門性とリーダー性を備えたコアティーチャーを養成するとともに、自らの研修成果等を普及し、県全体の学力向上を推進することを目的として実施している事業です。

この事業は今年度で 3 年目となり、受講者は 76 人となりました。今年度は、16 人の教員が、6 月 26 日（月）から 6 月 30 日（金）の一週間、秋田県大仙市の^{おおまがり}大曲小学校と大曲中学校、大仙市教育委員会において実地研修を行いました。

今年度の受講者は、以下の方々です。

実地研修では、各研修校において、秋田型とも言われる「探究型授業」を参観するとともに、研修校の先生方によるサポートのもと、授業実践を行いました。また、学校と地域との連携の様子や、県や市の施策が学校にどう周知され取り組まれているか、について聞き取りました。



【秋田県での授業実践の様子】

和歌山県で進めている、授業の導入・展開・振り返りのあり方を示した「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3 か条」については、秋田でも同様のことを徹底して授業で取り入れています。学力向上に効果的な授業づくりについて、研修に臨んだ受講者自身の実践と比較しながら考えるよい機会となりました。

大仙市教育委員会では、県と市、そして学校が一体となって学力向上に取り組んでいる様子について学ぶことができました。

今後、受講者には、所属校を中心とする地域において大仙市で学んだことを普及し、授業力向上、授業改善推進の中心となって活躍していただきます。ぜひ、コアティーチャーの実践を参考にして、共に、和歌山県の子供たちの学力向上に取り組んでいただきたいと思います。

学 校 名	氏 名
和歌山市立宮前小学校	塚田さとみ
和歌山市立四箇郷小学校	米田 優介
和歌山市立楠見小学校	中村 友香
和歌山市立八幡台小学校	和田 慎也
橋本市立隅田小学校	久保 佑介
岩出市立山崎小学校	藤村 幸治
紀美野町立小川小学校	上田 香織
有田市立港小学校	矢口 剛
由良町立由良小学校	船木 洋介
上富田町立市ノ瀬小学校	蕨野 寿
和歌山市立有功中学校	鎌田 靖浩
和歌山市立西和中学校	中村 壮佑
九度山町立河根中学校	谷口くみ子
紀の川市立粉河中学校	内垣悠一郎
田辺市立龍神中学校	尾田 佳風
那智勝浦町立下里中学校	石川 和彦

【受講者のみなさん】



05 「小さな発見」

秋立つ日詠める

秋来ぬと目にはさやかに見え
ねども風の音にぞおどろかれぬる
藤原敏行

古今和歌集巻第四 秋歌上の
最初に納められている和歌です。
一般的には、「ああ、秋が来たな」と、
景色を目で見たところでは、
はっきりとはわからないが、風の
音を耳にすれば、自ずからはっと
して、秋の訪れを感知する。（日
本古典文学全集による）というよ
うな解釈になり、秋の訪れを視覚

ではなく、聴覚で感じた鋭い感性
の歌とされています。

私もそう捉えていましたが、あ
る時、大野晋先生の本の中に、「つ」と「ぬ」の
違いについて、詳しくは書きませんが、「ぬ」の語源が「去（い）ぬ」であり、目の前から何かなくなると、今の状態になったという意味になるとの説明がありました。

私は、上の歌を何気なく思い出して、秋が来たというのは何がなくなっただろうと考えましたが、しばらくして、「あ、そうか、夏が行ってしまっただ。」と頭の中で閃きました。

そして、上記の解釈の後に括弧

付きで「ああ、もう、夏は行ってしまったんだ。」と書き加えることにしました。

もちろん、歌の解釈には様々な要素が絡むのでこの解釈は間違っているかもしれませんが、名歌というものはいくつもの時代を超えて伝わるものであり、その時々、また個々の解釈を可能にしています。そこで、私は今のところ、「音による秋の訪れ、去りゆく夏」と解釈しています。

私のこの小さな発見は、本当に偶然によるものですが、学び続けていると時々こういうことが起こります。これも学び続けることの楽しみの一つであります。

【管理職研修】 人材育成と管理職の役割

～学校経営者として求められるリーダーシップとマネジメント力～

教育センター学びの丘では、新任の校長先生、教頭先生を対象として、人材育成、組織マネジメント、直面する諸課題への対応等、管理職として必要な資質及び学校経営能力の向上を図るため、管理職にとって重要な内容を取り入れた研修を実施しています。

9月11日（月）に実施した教頭研修では、講師である兵庫教育大学大学院の浅野良一教授から、「学校に求められる OJT とは」「OJT の実践と管理職の役割」と題して、講義をいただきました。

午前は、和歌山県の教員の年齢構成や具体的な実践事例をもとに、校内での人材育成の考え方・進め方についての講義があり、受講者は校内人材育成方策（OJT）検討表を作成し、自校での取組を整理する演習等を行いました。

午後は、作成した校内人材育成方策（OJT）検討表を用いて、人材育成の仕組み・仕掛けづくり、OJT としてのメンタリング（支援的助言）についての講義・演習がありました。

人材育成の必要性、OJT の考え

方・進め方について、実践に役立つ研修内容であり、校内における人材育成のスキル・理論についての理解が図られました。



学びの丘 WEB サイトをぜひご活用ください！

学びの丘のウェブサイトは、研修講座のお知らせ以外にも、授業改善のヒントになる情報、授業ですぐに使える教材、校内研修に役立つ資料など、教職員にとって役立つ様々なコンテンツを提供しています。今回、【保存版】として WEB ガイドを作成しましたので、活用する際の標となれば幸いです。

プリントアウトして、
身近に置いておくと便利です！

